平成21年度

函館・大沼・噴火湾ルート活動報告

1．ルート運営活動計画の進捗状況
2．活動団体の活動状況及び課題
3．ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5．平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

1．ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称： 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者：会長　金道　太朗	報告年月：2010/3/16

	ルート（エリア）運営活動計画方針	ルート（エリア）運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観づくり	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加		国道278号の景観向上に向けた調査検討	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成20年9月～平成21年3月			
		テーマごとのエリアの紹介							
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォトクラブの設立							
		シーニックバスツアーの開催		汐首岬灯台におけるシーニックデッキ設置に向けた検討	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議事業分科会	平成20年7月～平成21年3月			
		シーニックルートマップの作成		ルートマップの作成	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議事業分科会	平成20年4月～平成21年3月			
		フォトコンテストの開催							
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	1	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年4月29日（祝） 8:00～12:00	約150名	HA － 1	4月29日をシーニックの日に制定して、今年3年目の活動。観光客が集まる五稜郭タワーや大沼、地域情報発信の場でもある函館市地域交流まちづくりセンターの他、今年度初めて汐首岬灯台周辺でも実施。 はこだて花かいどうは、6年目の活動であり、函館新道両側計600mを花いっぱいで飾り、おもてなしの心を持って実施。
		植栽活動の実施	11	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成21年6月13日（土）	約850名	HA － 11	
		景観阻害の改善		－					
観光振興	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街Ｖ協賛イベント「街なか探訪・学び」ツアー（H19：シーニックバスツアー）	★2	英国旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館	イザベラ・バードの道を巡る会	平成21年6月6日（土）～7日（日）	約50名	HA － 2	英国旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館では、函館市の西部地区には様々な観光資源があるが、そこに一つのテーマを持って既存の資源を紹介することで、新しい観光資源として紹介することができた。 シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアーは、今年度初めて旅行会社とタイアップして、一般を対象として実施。
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶ」ツアー（H19：シーニックdeナイト2008）	3	シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアー	トップツアー株式会社　函館支店	平成22年2月13日（土）17:00～19:00	28名	HA － 3	
		「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」ツアー（H19：夏休み体験講座、恵山観察会）		－					
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	縄文文化を再現し体験する歴史探訪ツアー	★4	シーニックの森づくり事業（選木作業）	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年9月16日（水） 10:00～13:00	約8名	HA － 4	シーニックの森づくり事業は、単に植樹を行うだけではなく、背景には思想と哲学がある。それは、「人為的な開発以前の潜在的な植生を基本に自生種を活用」することである。その思想に則り、植樹する苗木の選木・山取・仮植・植樹という手間暇をかけた作業を、団体間の連携を図りながら、北斗市のきじひき森林公園で実施。 シーニックdeナイト2010は、4年目の連携活動であり、地域情報の発信の場である函館市地域交流まちづくりセンターから始まり、大沼・南茅部、函館新道、道道函館上磯線、戸井の計6箇所で実施。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	★5	シーニックの森づくり事業（植樹）	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年11月7日（土）11:00～12:00	10名	HA － 5	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー		地域資源の収集に向けたワークショップ	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議事業分科会	平成21年1月19日（月）～平成21年1月21日（水）			
		ルート全体で取り組むスマイルキャンペーン（H19：バリアフリーボランティア事業）	7	シーニックdeナイト2010	シーニックdeナイト2010実行委員会	平成22年2月1日（月）～2月13日（土）	約600名	HA － 7	
		場所を変えた観光分科会の開催（H19：縄文の道フォーラム）		－					
	歴史を学び活かす	「函館の歴史を学ぶ」講座		縄文の道フォーラム	NPO法人函館市埋蔵文化財事業団	平成20年9月13日（土） 14:00～17:00			
		「函館の港を船上から学ぶ」講座（H19：アンギン編み＆勾玉作り）							

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
地域づくり	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ＆ラリーの開催（H19：赤松観察会）							シーニックの森づくり事業は、カーボンオフセットと絡めた植樹活動であり、バスツアーなどの自動車交通により排出されたCO2をオフセットする活動でもある。 赤松街道こも巻き・こも外しは、赤松の病気などをチェックする観察会と害虫駆除のためのこも巻き・外しであり、地元の宝を守り続ける活動。
		横津岳ガイドツアーの開催（H19：恵山観察会）		大沼公園湖畔と島巡り	NPO函館自然観察会	平成20年10月26日(日)9:00～14:00			
		自然環境教育プログラムの提供	★4	シーニックの森づくり事業(選木作業)	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年9月16日(水) 10:00～13:00	約8名	HA － 4	
			★5	シーニックの森づくり事業(植樹)	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年11月7日(土)11:00～12:00	10名	HA － 5	
			12	赤松こも巻き・外し	赤松街道を愛する会	平成21年10月11日(日)、平成22年3月14日(日)	約30名	HA － 12	
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	8	バリアフリーボランティア事業	函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会	平成21年6月12日(金)～15日(月) 10:00～16:00(JR函館駅) 平成21年6月13日(土)～14日(日) 10:00～16:00(函館空港)	約30名	HA － 8	昨年度に引き続き実施したバリアフリーボランティア事業は、函館駅等における身体障がい者や高齢者に対する移動のお手伝い等を行う事業である。今年度は、昨年度実施した体制の下、函館市の助成金を獲得し事業を実施。 トラベルサポーター養成講座は、トラベルサポーターの役割や高齢者や障がい者の種別、ツアー中のサポート計画等を学ぶトラベルサポーターの養成講座を実施。
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	9	トラベルサポーター養成講座	北海道運輸局	平成21年8月19日(水)	約30名	HA － 9	
	地域と来訪者の心をつなぐ	人とひととのふれあい方について勉強する	10	バリアフリーモニターツアー	北海道運輸局	平成21年9月5日(土)～7日(月)	約20名	HA － 10	昨年度実施したバリアフリーボランティア事業は、身体障がい者の移動のお手伝い等であったが、今年度新たに実施したトラベルサポーター養成講座は身体障がい者や高齢者が一人でも気軽に旅行できるように、旅先での移動におけるサポートや食事・入浴介助、旅行計画の作成などの講座であり、講座受講者はバリアフリーモニターツアーのサポーターも実施。
	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成（H19：代表者会議の運営体制の変更など）	★6	ルートミーティング	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議	平成21年11月14日(水) 16:00～20:00	49名	HA － 6	ルートミーティングは、今年度初めての活動で、団体及び行政間の情報共有を図ることを目的に実施。
	地域メディアとのタイアップ	FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載							
		FMいるかの特別番組による情報発信							
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成（H19：はこまち通信作成によるPRなど）		シーニックかるたの作成	森町観光ボランティアガイドの会	平成20年11月～平成21年2月			
		地域資源を説明するカードの作成		はこまち通信作成	函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議情報分科会	通年			

※表中"★"はH21新規活動

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-1

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

シーニック清掃活動

【内　容】4月29日を「シーニックの日」に制定し、観光客が多く集まる場所を中心として清掃活動を実施。昨年度に引き続き、五稜郭タワー周辺、大沼周遊道路、シーニック情報拠点でもある函館市地域交流まちづくりセンター周辺の3箇所と今年度新たに実施した戸井町汐首岬灯台周辺の計4箇所で実施。

【日　時】平成21年4月29日（祝）

【場　所】函館市・七飯町

【主　催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協　力】（株）五稜郭タワー、自然公園財団大沼支部、
山川草木を育てる会大沼本部、函館開発建設部、函館土木現業所、
函館市、七飯町

【参加人数】約150名

→函館新聞（5／1）

シーニックバイウェイ参加団体

ごみ拾い 道路きれいに

五稜郭公園周辺など

金5万寄付

ス指導員会

（左から）太田
と谷口会長

↓北海道新聞（5/1）

みんなのマチ きれいに

交通安全 啓発も

七飯町商工会

七飯町商工会工業部会（川又修治部会長）の部会員や家族ら約四十人が四月二十九日、町内中心部の「田園通り」でごみ拾いをした。

二〇〇二年から実施しているボランティア活動。シーニックバイウエイ「函館・大沼・噴火湾ルート」事業に協賛し、道路の清掃に加え交通安全の呼びかけもした。

同商工会の藤島富（とめ）事務局長は「今回は交通安全のたすきを掛け、スピードダウンの旗も用意しました。これからも地域の人々に喜ばれる活動を続けたい」と話した。（七飯・北畠妙子）

道路の清掃をする部会員たち

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-2

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

英国女性旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館

【内　容】明治11年の開国後まもなく日本を訪れた一人の英国人女性、“イザベラ・バード”。彼女はまだ鉄道もない東北から北海道へ、そして北海道では函館から室蘭、白老、平取まで歩き通した。2009年、開港150周年を迎える函館にて、イザベラ・バードが歩いた道を再び歩く会を実施。
【日　時】平成21年6月6日（土）、7日（日）
【場　所】函館市・七飯町・森町
【主　催】イザベラ・バードの道を辿る会
【共　催】（社）北海道開発技術センター、函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
【協　力】北海道函館運輸支局、渡島支庁、函館市　など
【参加人数】約50名

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-3

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアー

【内　容】シーニックdeナイトは今年で4年目を迎える活動であり、過去3年間、函館商工会議所の協力を頂き、シーニック関係者に対する無料バスツアーを実施してきた。今年度は、トップツアー株式会社の協力を頂き、地域住民及び観光客を対象とした有料バスツアーを実施した。シーニックdeナイト2010鑑賞地域は、函館新道と宮川神社（函館市館町　旧戸井町）とした。内容は、シーニックdeナイトの鑑賞だけでなく、地域の食・文化の体験、またカーボンオフセット型ツアーとしても実施した。

【日　時】平成22年2月13日（土）　17:00～22:00

【場　所】函館市

【主　催】トップツアー株式会社　函館支店

【協　力】シーニックdeナイト2010実行委員会

函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館運輸支局

【参加人数】28名

→カーボンオフセット型ツアー説明用資料

▲集合場所にて

▲キャンドルによるシーニックロゴマークの製作＆点灯（函館新道にて）

▲松前神楽「巫女の舞」鑑賞（宮川神社にて）

▲つみれ汁・岩のりで巻いたおにぎり・タコ刺しの食事（宮川神社にて）

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-4

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

シーニックの森づくり事業（選木作業）

【内　容】昨年度実施した「洞爺湖サミット記念の森」事業の反省を踏まえ、シーニックの森協定書内にある森管理責任の項目について事前に森管理者から了承を得た。また、全道のシーニックの森づくりの概念に当ルート独自のエッセンス（人為的な開発以前の潜在的な植生を基本に自生種を活用すること）を加味し、苗木の選木・山取・仮植を実施した。

【日　時】平成21年9月16日（水）　10:00～13:00

【場　所】北斗市きじひき森林公園の森

【主　催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協　力】北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、北斗市役所、はこだて広域森林組合

【参加人数】8名

函館・大沼・噴火湾ルート

HA-5

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

シーニックの森づくり事業（植樹）

【内　容】仮植した苗木を、ルート運営代表者会議及びルート運営行政連絡会議他により植樹を行った。植樹後の11月13日（金）に、シーニックバイウェイ支援センターより、「シーニックの森第4号」として認定を受けた。

【日　時】平成21年11月7日（土）　11:00～12:00

【場　所】北斗市きじひき森林公園の森

【主　催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協　力】函館開発建設部、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、北斗市役所、はこだて広域森林組合

【参加人数】10名

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-6

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

ルートミーティング

【内　容】地域活動団体メンバー及び行政メンバー同士の情報共有を図ることを目的に、ルートミーティングを実施した。第1部では、活動団体がこれまでに行ってきた活動の発表会を行い、第1部では懇親会を開催し交流を深めた。
【日　時】平成21年11月14日（土）　16:00～20:00
【場　所】湯の浜ホテル（函館市湯川町）
【主　催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
【協　力】函館開発建設部、函館運輸支局、函館市、シーニックボランティアスタッフ
【参加人数】49名

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-7

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

シーニックdeナイト2010

【内　容】今年で4年目を迎えたシーニックdeナイト2010。キャンドルづくりから地域活動団体だけではなく、町内会や観光客を一緒になりキャンドルを製作した。実施場所は、函館市地域交流まちづくりセンターや大沼、南茅部公民館周辺、道道函館上磯線、函館新道、宮川神社（旧戸井町）。

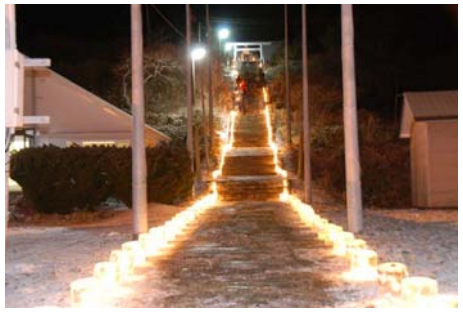
【日　時】平成22年2月1日（月）～13日（土）

【場　所】函館市・七飯町

【主　催】シーニックdeナイト2010実行委員会

【協　力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、七飯町

【参加人数】約600名



▲宮川神社（2/14）

▲大沼（2/7）

▲函館新道（2/14）

▲南茅部（2/7）

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-8

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

バリアフリーボランティア事業

【内　容】昨年度に引き続き、今年度は「函館市人づくり・まちづくり事業」の補助金を活用して事業を実施。第一弾は「第25回DPI日本会議全国集会in函館」開催に合わせ、昨年度と同様、函館駅及び函館空港にてバリアフリーボランティア活動を実施。
【日　時】平成21年6月12日（金）～15日（月）　10:00～16:00（JR函館駅）
平成21年6月13日（土）～14日（日）　10:00～16:00（函館空港）
【場　所】JR函館駅・函館空港
【主　催】函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会
【協　力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館運輸支局　など
【参加人数】約30名

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-9

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

トラベルサポーター養成講座

【内　容】身体障がい者や高齢者が一人でも気軽に旅行できるように、旅先での移動におけるサポートや食事・入浴介助などのトラベルサポーターを養成する講座を実施。
【日　時】平成21年8月19日（水）
【場　所】函館市地域交流まちづくりセンター、五島軒　ほか
【主　催】国土交通省北海道運輸局
【協　力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、五島軒ほか
【参加人数】約30名

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-10

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

バリアフリーモニターツアー

【内　容】高齢者・障がいをお持ちの方等が気軽に外出や旅行に出掛けられる社会を目指し、障がいをお持ちの方が、出掛けた先で地域の住民ボランティアの方々の協力を得ることで、障がいをお持ちの方の旅行の質が向上し、さらに、介助を行う方の負担を軽減できる旅行商品を企画するため、サポート（介助）などにおける課題を把握する。

【日　時】平成21年9月5日（土）～7日（月）

【場　所】函館・札幌・旭川

【主　催】国土交通省北海道運輸局

【協　力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館トラベルサポーター　など

【参加人数】約20名

9月5日(土)	JR函館駅集合 10:00 JR函館駅 集合 10:20 JR函館駅 出発 10:50 北斗市文化センター「かなでーる」第4回北海道ユニバーサル上映映画祭 映画「第七天国」鑑賞	函館空港集合 12:00 函館空港 集合 12:30 函館空港 出発 13:10 北斗市文化センター「かなでーる」第4回北海道ユニバーサル上映映画祭 映画「第七天国」鑑賞	朝食		宿泊・備考 宿泊先：函館市内 ホテル函館ロイヤル（洋室：2名1室） ※1名でご参加の場合は、シングルルームになります。
			昼食	お弁当	
	17:00 函館山（ロープウェイ）夜景見学 19:55 函館市内		夕食	函館山山頂レストラン	
9月6日(日)	9:00 ホテル出発 12:10 ルスツ高原 15:15 札幌市 大通公園散策 16:30 大通公園 出発 17:30 定山渓温泉		朝食	ホテル	宿泊・備考 宿泊先：定山渓温泉 定山渓万世閣ホテル ミリオーネ（洋室：2名1室） ※1名でご参加の場合は、シングルルームになります。
			昼食	ルスツ高原	
			夕食	ホテル	
9月7日(月)	8:45 ホテル出発 12:00 あさひやま動物園 15:00 あさひやま動物園 出発 17:40 新千歳空港 到着 19:30 JR札幌駅		朝食	ホテル	宿泊・備考
			昼食	あさひやま動物園	
			夕食		

函館・大沼・噴火湾ルート

HA-11

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

はこだて花かいどう

【内　容】今年で6年目を迎えた函館新道における植栽活動である“はこだて花かいどう”。年々規模を拡大しており、片側600mの区間に花苗約10,000株、参加人数850人で6月に植栽活動を実施した。水やりや雑草取りなどの維持活動を経て、11月に撤去活動を行った。また、撤去した活動は次年度の肥料に再利用する堆肥づくりなど活動の幅も広がってきている。

【日　時】平成21年6月～11月（植栽日6月１３日（土））

【場　所】函館新道

【主　催】函館花いっぱい道づくりの会

【協　力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、函館市水道局、（財）函館市住宅都市施設公社 、函館新道沿線企業

【参加人数】850名（植栽時）

函館･大沼･噴火湾ルート

HA-12

Hakodate-Onuma-Fnnkawann Scenic Byway

赤松こもまき・こも外し

【内　容】赤松こも巻き・こも外しは、赤松に寄生する害虫駆除のために実施し、地元の宝である“赤松”を維持していく活動。当日には、道路沿線の清掃活動も行っている。
【日　時】平成21年10月11日（日）（こも巻き）
　　平成22年3月14日（日）（こも外し）
【場　所】赤松街道（七飯町鳴川町）
【主　催】赤松街道を愛する会
【協　力】函館開発建設部、函館市、七飯町
【参加人数】約30名ずつ

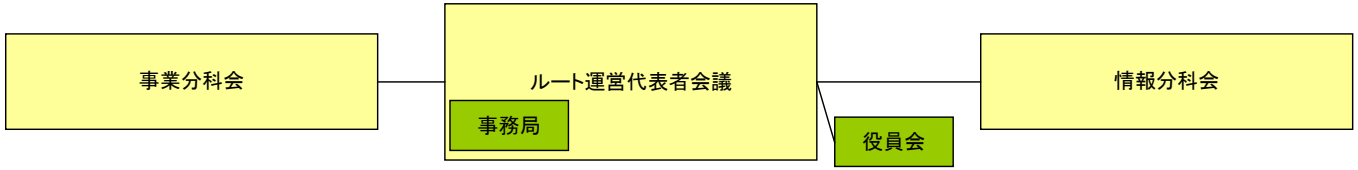
▲赤松こも巻き

▲赤松こも外し

3．ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称：函館・大沼・噴火湾ルート	報告者：会長　金道　太朗	報告年月：2010/3/16

活動団体
函館商工会議所、（社）函館国際観光コンベンション協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館商工会議所青年部、函館21の会、南北海道オートリゾートネットワーク研究会、函館湯の川温泉旅館協同組合　青年部、NGO函館自然観察会、NPO法人スプリングボードユニティ21、北の縄文CLUB、NPO法人函館市埋蔵文化財事業団、NPO法人どうなん「学び」サポートセンター、NPO法人函館エコロジークラブ、活力ユニット、函館すぷれっと、はこだて菜の花プロジェクト、ふしぎな花倶楽部　はまなす会、南北海道産業クラスター研究会、恵山地区女性団体連絡協議会、函館花いっぱい道づくりの会、函館手工芸の会、（財）北海道国際交流センター、NPO法人NPOサポートはこだて、戸井コミュニティビジネス研究会、北斗市観光協会、kazeru & kazeru、大沼観光協会、七飯町商工会、鹿部温泉観光協会、森町花いっぱい運動推進協議会、森町観光ボランティアガイドの会、八雲観光協会

ルート運営体制（活動団体）


	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議		13日				29日						9日	事業分科会及び情報分科会として開催することはなかったが、シーニックの森づくり事業等の個々のプロジェクトについて役員会等にて検討を行った。情報共有が図れない等の問題がある団体もいることから、次年度は各団体へのシーニックに対する参加意向を把握するなどして各団体の精査が必要である。
	役員会	15日			17日				4日					
	事業分科会													
	情報分科会													

ルート名称：函館・大沼・噴火湾ルート	報告者：函館開発建設部	報告年月：2010/3/16

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営行政連絡会議			9日									16日	

4．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称：函館・大沼・噴火湾ルート		報告者：函館開発建設部	報告年月：2010/3/16

	ルート（エリア）運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	美しい景観とは何かについて考える	国道278号の景観向上に向けた調査検討	平成20年9月～平成21年3月	函館開発建設部	国道278号の看板の撤去・集約に向けた看板基礎データ収集調査終了後、次年度以降の看板撤去手法等の検討を行った。	ルート運営行政連絡会議への連絡を行ってはいるが、関係する参加団体がいない行政の参加はほとんど見られない。次年度以降は、参加活動団体の更なる連携強化により、地域活動を充実させるとともに、行政の参加しやすい形について検討する必要がある。	
	ビューポイントを発掘する	・汐首岬灯台におけるシーニックデッキ設置に向けた検討 ・ルートマップの作成	・平成20年7月～平成21年3月 ・平成20年4月～平成21年3月	函館開発建設部、函館運輸支局、（社）日本自動車連盟、北斗市、七飯町、八雲町	汐首岬灯台でのシーニックデッキ設置に向けた海上保安庁との協議に参加し、汐首岬灯台の現状確認・開放に向けた条件等について検討を行った。また、汐首岬灯台周辺の駐車場整備に向けた課題把握も行った。ルートマップ作成にあたっては、ルート運営行政連絡会議へ会議案内を行うことで、地域とともにより良いルートマップ作成に向けた検討を行った。		
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	・シーニック清掃活動 ・はこだて花かいどう	・平成21年4月29日（祝） ・平成21年6月13日（土）	函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、七飯町	シーニック清掃活動では、ルート運営行政連絡会議への参加連絡を行い、函館市・七飯町での清掃活動及びはこだて花かいどうの植栽・維持活動に参加。		1
地域づくり	自然を守りながらうまく活用していく	・シーニックの森づくり事業（選木作業） ・シーニックの森づくり事業（植樹） ・赤松こも巻き・外し	・平成21年9月16日（水） ・平成21年11月7日（土） ・平成21年10月11日（日）、 平成22年3月14日（日）	函館開発建設部、北斗市役所、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、七飯町	シーニックの森づくりでは、北斗市役所、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンターが実施場所としての用地（きじひき高原）の提供及び苗木の選木作業等に協力。赤松こも巻き・こも外しでは、函館開発建設部及び七飯町が参加し、七飯町は事務局も務める。	ルート運営行政欄楽会議への連絡を行い、ボランティアとして登録されている方の参加は昨年度に引き続きあり、今年度も新規登録があった。次年度以降も継続する活動であることから、特に地元の自治体の参加を促していく必要がある。	
	ガイドの発掘・育成	・バリアフリーボランティア事業 ・トラベルサポーター養成講座	・平成21年6月12日（金）～15日（月）（JR函館駅）、平成21年6月13日（土）～14日（日） 10:00～16:00（函館空港） ・平成21年8月19日（水）	函館開発建設部、函館運輸支局	バリアフリーボランティアでは、函館開発建設部及び函館運輸支局の数名がボランティアに登録しており、活動にも参加した。トラベルサポーター養成講座では、函館運輸支局が事務局として活動に参加。		8 9
	地域と来訪者の心をつなぐ	バリアフリーモニターツアー	・平成21年9月5日（土）～9月7日（月）		バリアフリーモニターツアーは、北海道運輸局主催のもと実施し、障がい者が函館～札幌～旭川を旅行する際のツアーサポートなどを実施。		10
	内部的な関心の共有、意識醸成						
	地域メディアとのタイアップ						
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	平成20年11月～平成21年2月	函館開発建設部	ルート内の地域資源を活かした読み札を作成するためのワークショップを情報分科会とともに行った。		
観光振興	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	・英国旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館 ・シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアー	平成21年6月6日（土）～7日（日）	北海道函館運輸支局、渡島支庁、函館市	英国旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館では、ルート運営行政連絡会議への参加連絡を行い、函館運輸支局・渡島支庁の数名が参加。また函館市教育委員会は函館市西部地区の歴史についてのガイドを行った。 シーニックdeナイト鑑賞バスツアーでは、ルート運営行政連絡会議への参加連絡を行い、函館運輸支局が参加。	シーニックの森づくり事業は、地域の方で体制作りや持続的な活動とするための資金獲得等の検討を行っているが、行政連絡会議においては、その活動に適する助成金の情報提供等を行う必要がある。 また、北斗市以外の場所における情報収集を図る必要もある。 シーニックdeナイトは、既存のキャンドルのイベントとの相互連携や情報交換等を密に行う必要がある。	★2 3
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	・シーニックの森づくり事業（選木作業） ・シーニックの森づくり事業（植樹） ・ルートミーティング ・シーニックdeナイト	・平成21年9月16日（水） ・平成21年11月7日（土） ・平成21年11月14日（土） ・平成22年2月1日（月）～14日（土）	函館開発建設部、北斗市役所、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、函館土木現業所、函館市、七飯町、八雲町	シーニックの森づくりでは、北斗市役所、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンターが実施場所としての用地（きじひき高原）の提供及び苗木の選木作業等に協力。 シーニックdeナイトでは、キャンドルを作る際に必要な牛乳パックの提供や、キャンドル設置やイベントへの参加を行った。		★4 ★5 ★6 7
	歴史を学び活かす	縄文の道フォーラム	平成20年9月13日	函館開発建設部、渡島支庁、函館市	縄文の道フォーラムでは、チラシの後援名義の認可とフォーラムへの参加も行った。		

※表中“★”はH21新規活動

５．平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称：函館・大沼・噴火湾ルート	報告者：会長　金道　太朗	報告年月：2010/3/16

平成20年度活動報告への助言	平成21年度　状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、改善の仕組みの強化、人材育成の取組の充実を期待する。	シーニックdeナイトやシーニックの森づくり事業などのルート活動は地域へある程度浸透しているが、さらなる浸透を図るためにも情報強化が必要である。ルートHPも構築されているが、なかなか更新できていない状態にあるため、既存の情報発信機能を有効的に活用することが必要。人材面でも、移住者や町内会とうまく連携を図りながら、ルート活動の促進及び情報強化に努めることが課題。	

ルート名称：函館・大沼・噴火湾ルート	報告者：函館開発建設部	報告年月：2010/3/16

平成20年度活動報告への助言	平成21年度　状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、改善の仕組みの強化、人材育成の取組の充実を期待する。	地域が実施しているルート連携活動について、ルート運営行政連絡会議を通じ情報提供を行い、協力体制が図れた。しかし、行政機関が主体的に行う事業やイベントについて、ルート運営行政連絡会議を通じた情報共有及び協力体制の強化が課題。	